

健康経営戦略MAP(2026年)

健康投資

- 労働安全衛生**
 - 労働安全事象の横展開による再発防止
- 健康管理体制の推進**
 - 法定各種健康診断等の実施
- ポピュレーションアプローチの推進**
 - 運動習慣の定着・促進に繋がる運動機会の提供
 - イントラサイト等を通じた健康情報の提供や健康セミナーの実施
 - 健康管理ポータルサイトの活用と促進
- 健康面のハイリスク者対策の推進**
 - 重症化予防対策の実施
 - 特定保健指導対象者、対象予備軍の低減対策の実施
 - 喫煙者への禁煙サポートの実施
- メンタルヘルスの推進**
 - ストレスチェックの実施及び集団分析結果の活用
 - 相談窓口の設置
 - 休職者・復職者支援制度の活用推進
 - メンタル不調者発生未然防止プログラムの推進
- ワークライフバランス(WLB)の推進**
 - 実態把握のための定期調査
 - 労働時間管理
 - 育児・介護等休暇休業制度規程の整備と活用
 - 連続有給休暇(3.5連休)の取得推進

健康投資効果(KPI)

①健康投資の取組状況に関する指標

安全衛生教育受講率(対象者)
法定各種健康診断受診率
全社健康イベントの参加率
健康管理ポータルサイトの登録率
特定保健指導(35歳以上)初回実施率
ストレスチェック受検率
メンタルヘルス研修受講率
残業時間超過者への面接実施率
男性育児休業社員レポート普及・啓発率
毎月の有給取得目標の周知率
働き方改革特設サイトのアクセス数

②従業員の意識変容・行動変容に関する指標

安全・健康最優先の行動実践率
法定各種健康診断受診率
健康管理ポータルサイトの利用率
ヤマハ3つの健康行動(※1)実践率
高リスク者率(就業制限)就業区分2・3対象者の面談実施率
特定保健指導(35歳以上)の実施率
喫煙率
高ストレス者率
法定外労働時間月45時間超過者数
月平均残業時間
男性従業員の育児休業取得率
有給休暇取得日数平均

③健康関連の最終的な目標

全労災発生件数
休業を伴う労災発生件数
事故発生件数
プレゼンティズム
アブセンティズム
特定保健指導該当率
高リスク者率(就業制限)就業区分2・3対象者
従業員エンゲージメント
ワークエンゲージメント

目標年：2030年 健康経営の目標

KGI(2025年実績比)

死亡・後遺障害災害
0件 ▶ 0件

プレゼンティズム
61.1 ▶ 63.0

アブセンティズム
2.3日 ▶ 2日

特定保健指導該当率
19.41% ▶ 18.00%

高リスク者率(就業制限)
就業区分2・3対象者
2.75% ▶ 2.00%

エンゲージメントスコア
－% (※3)

健康経営の目標



常にイキイキ・
ワクワクできる、
心身の状態を保つ

経営方針

「感動創造企業」

「世界の人々に新たな感動と豊かな生活を提供する」ことを目的に、人々の夢を知恵と情熱で実現し、つねに「次の感動」を期待される企業、「感動創造企業」をめざす

健康経営の推進方針

労働安全衛生基本方針 「安全・健康 最優先」

ヤマハ発動機グループで働くすべての人が心身ともに健康で、いきいき安心して働ける安全で快適な職場づくりを全員参加で追求し続ける

労働衛生行動指針

安全・健康への意識を高め、自ら考え、安全・健康最優先の行動に努める組織の枠を超え、一致協力して、安全衛生リスクの最小化に取り組む安全衛生に関わる法令・ルールを理解し順守する

従業員の健康課題

- 特定保健指導該当率の増加
- メンタル不調を起因とした休職者数(休職者率)増加

健康風土の醸成

理念・方針実現のための体制・環境

- 経営レベル会議・取締役会議での議論
- 中央安全衛生委員会等を通じた定期情報配信
- グループ会社・取引先会社への健康経営の施策の共有

健康経営の浸透状況

- 経営トップの持続的関与
- 健康経営の推進方針及びKPIの認知
- 健康施策の社内公表
- ジョイネス活動(※2)の浸透と活性化

組織内支援(POS)

- 「会社が健康に配慮してくれている」のポジティブ回答率

備考

(※1)ヤマハ3つの健康行動とは

- ①定期的な体重測定、②平均歩数6,000歩以上、③平均睡眠時間6時間以上

(※2)ジョイネス活動とは

各部門の安全衛生委員会の下部組織として「健康推進(ジョイネス)担当」を設置し、社員の運動習慣の行動変容と健康指数の向上をミッションに据え、健康施策の企画・推進を行う。

(※3)－%とは

2025年からの新中期経営計画において、グローバルエンゲージメントポジティブスコア80%以上を維持することをグローバル共通目標として設定。